



BIO 2024 (米国サンディエゴ) 参加レポート

1. はじめに

2024年6月の3日から6日にかけて米国サンディエゴ開催されたBIO INTERNATIONAL CONVENTION 2024 (“BIO 2024”)に参加しました。当事務所からは、東京オフィス勤務で知財やヘルスケア案件を多く扱うパートナー弁護士と、シリコンバレーオフィス勤務でバイオベンチャーサポートに力を入れているアソシエイト弁護士を加え、計3名で現地に足を運びました。

2. BIOについて

BIOは、製薬・バイオテクノロジー企業、アカデミア、州等の研究機関、米国内および30カ国以上の米国外の関連団体を会員として擁する、世界最大級の業界団体です。BIOは大小様々な業界イベントを主催しており、私はこれまでに、主に米国内のIPロイヤーを中心とした小規模イベントであるBIO Intellectual Property Counsels Committee Conferenceには参加したことがありましたが、BIO INTERNATIONAL CONVENTIONへは初参加となりました。BIO INTERNATIONAL CONVENTIONはBIO主催の中でも最大級のイベントで、企業間の商談の場の提供が主目的です。公式発表では2万人以上の参加者、500以上の展示ブースがあるとのこと。参加者内訳をみると製薬が約半数で、CROやCDMO等のサービス関連企業、アカデミア、リサーチツール、診断関係、等々と続きます。

3. BIO 2024のプログラム

メイン会場はサンディエゴ・コンベンションセンター、近場のホテル等にもサテライト

会場が設けられ、さらに公式・非公式のネットワーキングイベントがあちらこちらで開催されるなど、まさに街中がBIO 2024といった様相でした。

メイン会場内では、参加団体が展示ブースで自社の事業と技術を披露しています。大きな会場で端から端まで歩くのも一苦勞でしたが、製薬事業、サービス関連事業等の業種別のほか、日本、フランス等の国や米国の州といった地域別、FDA当局関係、軍関係などの関連当局別といった各種の展示区分があり、ブースを巡って話を聞くことでビジネストレンドを展望できて大変興味深かったです。

その巨大な会場スペースの約四分の一は商談ブースの区画で、企業担当者の皆さんは主催者提供のマッチングアプリを使ってスケジューリングし、一日何本もの商談をこなされていました。



会場のコンベンションセンターは巨大で、一日歩き回るとよい運動になる。

4. 活発な周辺イベント

会場内の展示やピッチセッションもさることながら、BIO INTERNATIONAL CONVENTIONはその周辺で開かれる大小様々なネットワーキング活動にも大きな意義があります。例えば我々は、一般社団法人ライフサイエンス・

イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J) 様主催の「JAPAN NIGHT」に参加させて頂きました。バイオベンチャー企業やアカデミア、そのサポートをするコンサルタントや関係省庁の担当者の方々等約200名の参加者が、米国進出を巡る戦略や課題について議論し情報交換をするこのような場は、日本からの進出を図る関係者にとって非常に貴重であり、港脇の開放的な会場の雰囲気も相俟って日本のバイオ産業の熱い勢いを感じる機会となりました。



大盛況のJAPAN NIGHT。1863年製造でいまだ現役の鉄製帆船Star of Indiaが停泊するポートサイドで。

ほかにも、BIO 2024に合わせて開催される複数の現地米国法律事務所のレセプションパーティへの参加、現地事務所やクライアントの訪問、アジア、オセアニア、英国、欧州などからBIO 2024に参加している米国以外の海外代理人とのミーティングを通じた情報交換なども行い、非常に充実した滞在期間となりました。

5. サンディエゴの街

会場となったサンディエゴの街は、海軍海兵隊の基地が多く軍関係企業の多い街です。港に停泊する航空母艦ミッドウェイは観光客にも人気です。また近年ではバイオ・ヘルスケア関連の企業・研究所が参集していることでも有名で、BIO 2024がサンディエゴで開催されているのも納得です。ダウンタウンのガスランプクォーターはビクトリア朝の歴史的

建物も並ぶ趣のあるエリアで、バーやレストランが多く夜遅くまで賑わっていました。BIO 2024では何とこのガスランプクォーターのメインストリートを2ブロック貸切って最終夜のネットワークイベントが開かれました。



海軍航空博物館の空母ミッドウェイ。その大きさと安定感に圧倒される。



最終日前夜にはガスランプストリートを2ブロックも封鎖してオフィシャルパーティーが開催された。

6. おわりに

米国進出を考えておられる企業の皆様やそのエコシステムを支える業界や当局の方々にも現地でお会いできたことは、私どもにとっても大いに刺激となりました。今後もサポート体制を充実させて参りたいと思います。

筆者紹介

上野さやか

弁護士。TMI総合法律事務所2007年入所、東京勤務。主な取扱分野は特許やバイオ業界関連案件。東京大学大学院薬学系研究科修士課程修了。UC Berkeley School of Law LL.M.修了。趣味は食と国内外の旅。